

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年05月17日

計画の名称	大島町における防災性の向上												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	大島町												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年台風第26号で発生した土砂災害によって被災した一帯において道路、広場、緑地等の地区公共施設整備により、避難の円滑化、防風機能、遊水機能の確保を図り、地区の防災性の向上を図る。</li> <li>・歩行者空間（堆積工、導流堤など土砂災害対策施設や流路、慰霊公園を連絡）の確保など、被災地一帯を土砂災害対策の学習と災害の教訓を伝える場として活用できるように整備し、地域防災力の向上を図る。</li> <li>・海からの風を防ぐ樹林帯の再生により、大島らしい自然と調和した景観形成を図る。</li> </ul>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	795	A	786	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.13	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	・避難路となる町道を延長900m整備する（交差点の改良含む）、避難の車両や緊急車両の円滑な通行が可能となる交差点改良（隅切改良、視距改良）用地を1ヶ所取得する。 避難場所（大島町役場及び都立大島高等学校）へ誘導するための町道（細街路・交差点改良）等の整備（用地取得含む）	0m	460m	900m
2	遊水機能を確保し、植樹による防風機能・景観向上、コミュニティ育成、災害教訓の伝承などによる地域防災力向上へとつながる広場を整備するため、用地14ヶ所を取得する。 延焼防止及び降雨時の遊水機能を有する広場等用地の先行取得14箇所	0箇所	14箇所	14箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
交差点改良用地取得1箇所含む。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	大島町	直接	大島町	-	-	元町地区町道等整備(細街路・交差点改良等)	道路等整備(延長0.9km、交差点改良用地1箇所取得)	大島町						766	-	
	A13-002	都市防災	一般	大島町	直接	大島町	-	-	元町地区広場等整備	広場用地先行取得(約0.6ha)	大島町						20	-	
											小計							786	
											合計							786	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	大島町	直接	大島町	-	-	元町地区復興まちづくり 活動支援	元町地区の公共施設や町並み 形成に向けた検討活動	大島町						9		-	
		広場等の整備への住民意見を反映し災害の教訓を伝え良好な景観を形成する整備を実施するとともに、賑わいの創出に資する魅力的な街並み形成に向けた住民提案作成を支援する。																		
											小計						9			
											合計						9			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大島町議会で構成される「住民・福祉・環境常任委員会」で数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、評価を実施した。	令和3年3月
	公表の方法 大島町の公式ホームページにて掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・第1期計画では各路線全面整備はせず、居住者が多いエリアを先行整備したことにより、災害時における住民の避難路確保及び交差点等の改良により、緊急車両等が一部の区間で円滑な通行が可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・既存道路については狭小道路で舗装状態も劣化が著しかったが、新たに整備することにより幅員も広がり、周辺機関との道路ネットワークが強化された。 ・新設道路を整備することにより、新設の主要施設（町立生涯学習センター、町立保育園）へのアクセスが強化され、人の賑わい創出とまちの活性化につながった。
特記事項（今後の方針等）	
本整備計画に位置付けられている事業は、道路整備、防災広場（一時集合場所）の確保等により、防災性の向上を目指している。今後、2期計画において、本整備計画からの継続事業を進め、防災性の向上に寄与する整備を推進していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	避難道路等整備（道路整備 6箇所、歩道整備 1箇所）	
	最終目標値	900m
	最終実績値	996m
2	用地取得	
	最終目標値	14箇所
	最終実績値	14箇所